

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 水島合金鉄株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8513 倉敷市水島川崎通1-1	
本票作成	部署名：製造部				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	マンガン系合金鉄の製造販売・窒化硼素の製造販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島合金鉄本社工場		倉敷市水島川崎通1-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.6 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	337,615 t CO ₂			328,837 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	水島合金鉄本社工場		337,615 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 換算生産量(t)・・・主要設備のSF炉のエネルギー使用量を基準にして、その他の設備の生産量をエネルギー使用量で換算する	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		2,250 kg CO ₂ / (t)	2,192 kg CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

平成24年11月に当社の主要設備であるフェロマンガ製錬炉を更新し、高温送風によるコークス原単位削減出来たが、オフガスであるSFガスの自社使用増やカロリー低下により販売熱量減となり、コークス原単位削減の効果が相殺。更にフェロマンガ製錬炉の設備トラブルや高圧操業等によりCO₂原単位悪化したが、C重油の代替として廃油から製造された再生油を使用促進することを織り込み原単位削減率2.6%と設定した。

【目標削減率達成のための推進体制】

推進体制：エネルギー管理統括者(工場長)→エネルギー企画推進者→エネルギー管理士→各部署
 環境マネジメントシステム：平成18年認証取得

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島合金鉄 縦型製錬炉 (SF炉)	<ul style="list-style-type: none"> ・フェロマンガ製錬炉の高温送風化によるコークス原単位削減 ・フェロマンガ製錬炉の更新設備への高効率機器（電動機、ポンプ、変圧器等）の採用 ・フェロマンガ製錬炉の日常運転管理強化による省エネ ・集塵設備等不要時の回転数低下 ・空調、照明運転の日常管理の強化 ・ポンプ更新時にエネルギー効率の高いポンプを採用 ・本社事務所へ仕切り増設し冷暖房効率向上 ・C重油代替として廃油の再利用

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島合金鉄 縦型製錬炉 (SF炉)	<ul style="list-style-type: none"> ・設備トラブル防止によるエネルギー消費原単位の削減 ・フェロマンガ製錬炉の日常運転管理強化による省エネ ・空調、照明運転の日常管理の強化 ・ポンプ更新時にエネルギー効率の高いポンプを採用 ・C重油代替として廃油の利用促進

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--